Data System

汎用製品　12V車専用

マルチカメラコントローラー
MCC292

取扱説明書

この度はデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しく使っていただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

目次/製品仕様

目次

目次…… 2
製品仕様…… 2
内容物一覧…… 3
ご使用になる前に(必ずお読みください)…… 4
保証について…… 5
保守部品の保有年数について…… 5
機能概要…… 6
各部の名称…… 7

基本的なつかいかた
ナビやモニターのリアカメラ連動画面を使用している場合の注意点 … 8
ワンタッチ映像出力機能…… 9
左ウインカー連動機能 …… 10
右ウインカー連動機能 …… 11
リバース連動機能…… 12
リアカメラ強制表示モード…… 13

本体をリセットする…… 14
故障かな?と思ったら …… 15

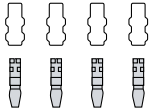
製品仕様

映像入力	RCA端子 ×3系統	映像出力	RCA端子 ×1系統
消費電流	約100mA※本体のみ(カメラ除く)	本体外形寸法	幅110㎜×高さ25㎜×奥行き70㎜(突起部除く)
電源電圧	DC12V	使用温度範囲	±0℃～+50℃
ヒューズ	10A	本体質量	約110g

内容物一覧

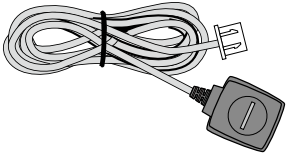
■MCC292本体 ×1

■オスギボシ&スリーブ ×4

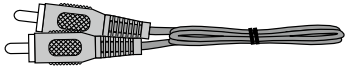


■メスギボシ&スリーブ ×1

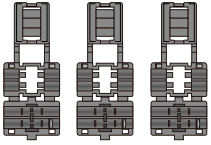
■コントロールスイッチ(3m) ×1



■ピン端子ケーブル(1m) ×1

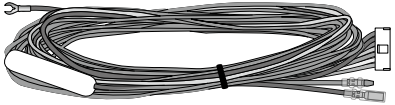


■エレクトロタップ ×3

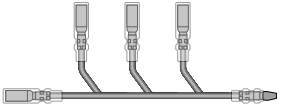


■両面テープ(大) ×1
■両面テープ(小) ×1

■接続ハーネス ×1



■カメラ電源接続ハーネス ×1



■コードクリップ ×4

■結束バンド ×4
■取扱説明書(本書) ×1
■取付説明書 ×1
■保証書&ユーザー保証登録カード ×1

ご使用になる前に(必ずお読みください)

注意事項の定義

注意事項は「危険」、「警告」、「注意」、「重要」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

⚠ 危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの。	⚠ 注意	守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの。
❗ 警告	守らないと法律に違反する恐れがあるもの。	ⓘ 重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと。

安全上のご注意

ⓘ 重要 **本機の映像出力をナビのリアカメラ入力に接続している場合、本機の動作中はナビの自車位置が不正確になります。**
これは本機がナビへリバース信号を出力し(リバース信号出力機能)、強制的にナビをリアカメラ連動画面に切り替えることによるものです。
これにより本機の動作中は、ナビが「車両が後進している」と判断し、ナビは画面上の自車位置を後進させます。
そのため、特にナビの目的地案内を使用しているときは、本機を使用する時間を極力短くするようにしてください。なお、不正確になった自車位置は本機の動作停止後、ナビのGPS機能によって補正されますのでご安心ください(補正にかかる時間はGPSの受信状況などにより変わります)。

⚠ カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様にあくまで車の安全運転をサポートするためのものです。運転中は必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。

❗ 運転者が走行中にテレビやナビの画面を注視することは道路交通法第71条により禁じられています。走行中に本製品を使用する場合は画面を注視しないようご注意ください。

⚠ 走行中は無理にコントロールスイッチ操作をおこなわないでください。走行中にコントロールスイッチを操作する際は、運転に対する集中力が散漫にならないよう特にご注意ください。

ⓘ 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
●保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
●ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
●保証規定は保証書を参照してください。
●保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間（保守部品の保有年数）を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間（保守部品の保有年数）を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

機能概要

重要 ●以下の各種機能が正しく動作するためには、それぞれの機能に対応したカメラが接続されていることが必要です。

●ワンタッチ映像出力機能(☞9ページ)
コントロールスイッチを押すと、フロントカメラ映像を表示します。また、フロントカメラ映像表示中にもう一度コントロールスイッチを押すと、サイドカメラ映像表示に切り替わります。

●ウインカー連動機能(☞10～11ページ)
ウインカーに連動して自動的にサイドカメラ映像を表示します。

⚠工場出荷時はOFFになっています。必要に応じてONにしてください。

●リバース連動機能(☞12ページ)
シフトレバーを【R(リバース)】にシフトするとリアカメラ映像を表示します。
また、リアカメラ映像表示中にコントロールスイッチを押すと、サイドカメラ映像に切り替わります。

●リアカメラ強制表示モード(☞13ページ)
リアカメラ映像を常時表示させることができます。

●リバース信号出力機能
通常、リアカメラ入力端子を搭載したナビやモニターは、リバース信号が入力されると、地図やテレビなどを表示していても強制的にカメラ映像に切り替わります(リアカメラ連動機能)。本機は動作を開始するとリバース信号をナビへ出力し、自動的にカメラ映像(リアカメラ連動画面)に切り替わる仕組みとなっています。

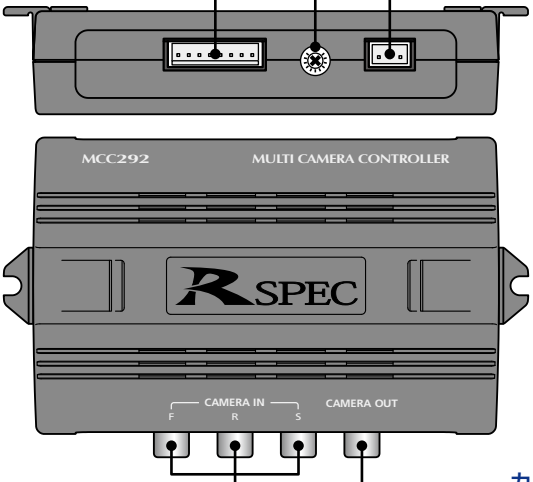
※本機を走行中に使用すると、車両が後進しているとナビが判断し、ナビは画面上の自車位置を後進させます。
そのため、特にナビの目的地案内を使用しているときは、本機を使用する時間を極力短くするようにしてください。なお、不正確になった自車位置は本機の動作停止後、ナビのGPS機能によって補正されますのでご安心ください(補正にかかる時間はGPSの受信状況などにより変わります)。

各部の名称

カメラ電源電圧可変トリマー
電圧可変出力線の出力電圧を調整します。

接続ハーネス接続端子
付属の接続ハーネスを接続します。

コントロールスイッチ接続端子
コントロールスイッチを接続します。



カメラ映像入力端子
各カメラの映像出力端子を接続します。

カメラ映像出力端子
いずれかのカメラ映像をナビやモニターへ出力します。

※各部の詳細や接続方法などについては、MCC292取付説明書をご参照ください。

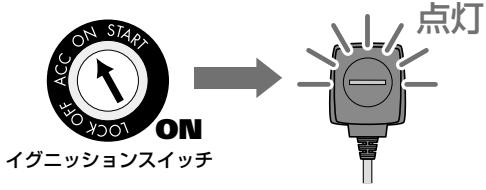
基本的なつかいかた

重要 ●以下の各種機能が正しく動作するためには、それぞれの機能に対応したカメラが接続されていることが必要です。

・本機の操作はコントロールスイッチや車両側の操作(ウインカー・シフトレバーなど)でおこないます。
・コントロールスイッチの点灯/点滅で、本機の動作状態をお知らせします。

◆電源

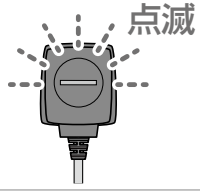
イグニッションスイッチをONにすると本機に電源が入り、コントロールスイッチが点灯します。



イグニッションスイッチ

◆動作中

本機の動作中はコントロールスイッチが点滅します。



リアカメラ強制表示モード中は点滅しません。(☞13ページ)

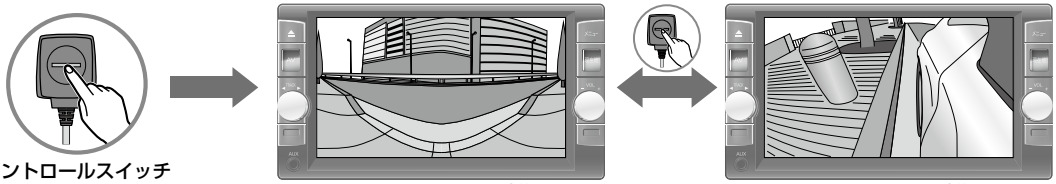
ナビのリアカメラ連動画面※を使用している場合の注意点

※シフトレバーを【R(リバース)】にシフトしたときに切り替わる、リアカメラ映像表示用の画面

重要 ●ナビのリアカメラ連動画面を使用している場合、本機の動作中はナビの自車位置が不正確になります。
これは本機がナビへリバース信号を出力し(リバース信号出力機能☞6ページ)、強制的にナビをリアカメラ連動画面に切り替えることによるものです。

ワンタッチ映像出力機能 ※フロントカメラ・サイドカメラ装着時

・コントロールスイッチを押すと、フロントカメラの映像が表示されます。
・フロントカメラの映像表示中にコントロールスイッチを押すと、サイドカメラの映像に切り替わります。
・ワンタッチ映像出力機能動作中は、コントロールスイッチを押すたびにフロントカメラの映像とサイドカメラの映像が交互に切り替わります。



●ワンタッチ映像出力機能は次のいずれかの条件で停止します。
・コントロールスイッチを1秒以上押したとき。
・フロントカメラ映像を表示したまま、またはコントロールスイッチを押してサイドカメラ映像表示またはフロントカメラ映像表示に切り替えてから20秒経過したとき。
・ウインカーまたはハザードの動作を停止させた後、約1.5秒経過したとき。

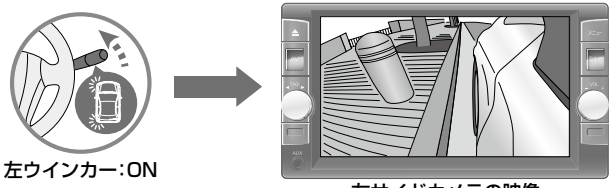
●ワンタッチ映像出力機能動作中にシフトレバーを【R(リバース)】にシフトすると、ワンタッチ映像出力機能がキャンセルされて、リバース連動機能が動作します(リバース連動機能が【ON】の場合。☞12ページ「リバース連動機能」参照)

●リバース連動機能動作中にコントロールスイッチを押しても、ワンタッチ映像出力機能は動作しません(☞12ページ「リバース連動機能」参照)。

左ウインカー連動機能 ※左サイドカメラ装着時

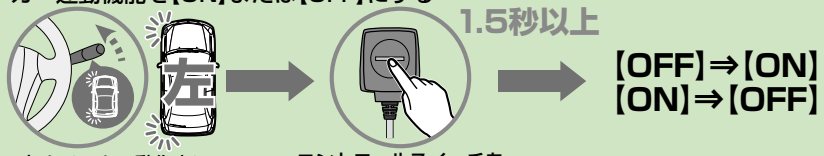
工場出荷時：OFF

・左ウインカーを動作させると左サイドカメラの映像が表示されます。



設定方法

◆左ウインカー連動機能を【ON】または【OFF】にする

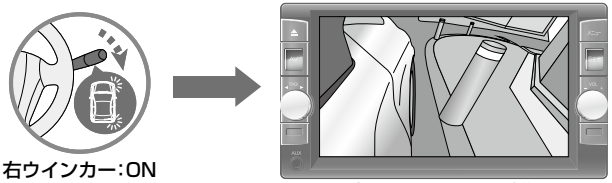


- ●左ウインカーを動作停止させてから約1.5秒経過すると、左ウインカー連動機能は動作を停止します。
- ●左ウインカー連動機能動作中にコントロールスイッチを押すと、ワンタッチ映像出力機能に切り替わります。
- ●**左サイドカメラを接続していない場合は、左ウインカー連動機能は【OFF】に設定してください。**※工場出荷時は【OFF】
- ●左ウインカー連動機能と右ウインカー連動機能は同時に【ON】に設定できません。片方を【ON】に設定すると、もう片方は自動的に【OFF】になります。
- ●ワンタッチ映像出力機能動作中、またはリバース連動機能動作中、左ウインカー連動機能は動作しません。

右ウインカー連動機能 ※右サイドカメラ装着時

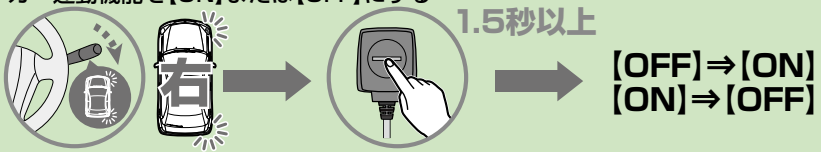
工場出荷時：OFF

・右ウインカーを動作させると右サイドカメラの映像が表示されます。



設定方法

◆右ウインカー連動機能を【ON】または【OFF】にする

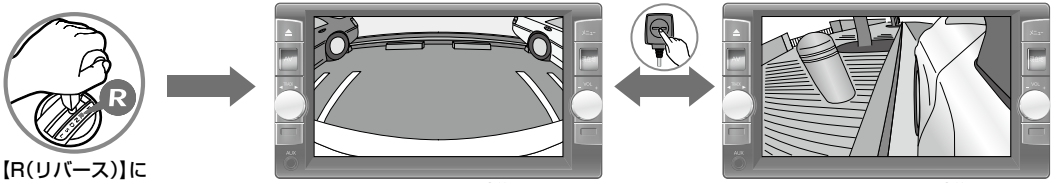


- ●右ウインカーを動作停止させてから約1.5秒経過すると、右ウインカー連動機能は動作を停止します。
- ●右ウインカー連動機能動作中にコントロールスイッチを押すと、ワンタッチ映像出力機能に切り替わります。
- ●**右サイドカメラを接続していない場合は、右ウインカー連動機能は【OFF】に設定してください。**※工場出荷時は【OFF】
- ●右ウインカー連動機能と左ウインカー連動機能は同時に【ON】に設定できません。片方を【ON】に設定すると、もう片方は自動的に【OFF】になります。
- ●ワンタッチ映像出力機能動作中、またはリバース連動機能動作中、右ウインカー連動機能は動作しません。

リバース連動機能 ※リアカメラ装着時

工場出荷時：ON

・シフトレバーを【R(リバース)】にすると、リアカメラの映像が表示されます。
・リアカメラの映像表示中にコントロールスイッチを押すと、サイドカメラの映像に切り替わります。
・リバース連動機能動作中は、コントロールスイッチを押すたびにリアカメラとサイドカメラの映像が交互に切り替わります。



設定方法

◆連動機能を【OFF】または【ON】にする

●ワンタッチ映像出力機能やウインカー連動機能の動作中でも、シフトレバーを【R(リバース)】にするとリバース連動機能が優先されて動作します。
●**リアカメラを接続していない場合は、リバース連動機能の設定を【OFF】にしてください。**

リアカメラ強制表示モード

工場出荷時：OFF

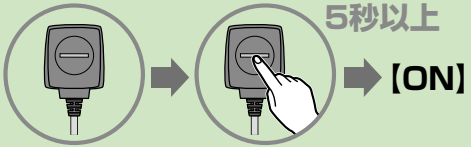
・本機の機能がいずれも動作していない(コントロールスイッチが点滅していない)とき、コントロールスイッチを5秒以上押し続けると、リアカメラ強制表示モードが動作します。
・リアカメラ強制表示モードを動作させると、常にリアカメラの映像が表示されるので、バックミラーで車両後方の状況が確認できないときなどに使用すると便利です。

重要

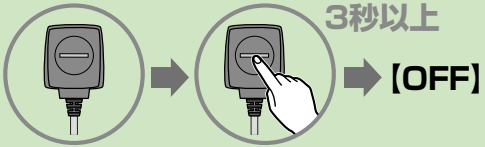
●ナビのリアカメラ連動画面を使用している場合で、ナビを使用するときはこのモードを絶対に使用しないでください。
リアカメラ強制表示モード動作中は、常に本機がナビへリバース信号を出力し(リバース信号出力機能☞6ページ)、強制的にナビをリアカメラ連動画面に切り替えるため、ナビの自車位置が不正確になります。

設定方法

◆リアカメラ強制表示モードを【ON】にする



◆リアカメラ強制表示モードを【OFF】にする



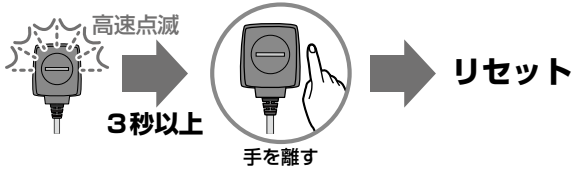
●リアカメラ強制表示モード中にいずれかの機能が動作するとリアカメラ強制表示モードが一時的にOFFになり、機能停止後にリアカメラ強制表示モードが再開します。
●リアカメラ強制表示モード中に車両側イグニッションスイッチをOFFにしても、次回イグニッションスイッチONでリアカメラ強制出力モードが自動的に動作を再開します。このモードを使用しない場合は、上記「設定方法」をご参照のうえ、【OFF】に設定してください。
●リアカメラ強制表示モード動作中、コントロールスイッチは点滅しません。

本体をリセットする

本体の設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

1. コントロールスイッチを押しながら、車両側イグニッションスイッチを【ACC】の位置にします（エンジンは始動させません）。

2. コントロールスイッチが高速点滅を始めてから3秒以上押し続け、点滅が点灯に変わってから手を離します。



工場出荷時の設定一覧

左ウインカー連動機能	**OFF**	右ウインカー連動機能	**OFF**
リバース連動機能	**ON**	リアカメラ強制表示モード	**OFF**

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。
それでも正常に動作しないときは、ご相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

こんなとき	ここをたしかめてください
リバース連動機能OFF中に、シフトレバーを【R(リバース)】にすると、真っ暗な画面になる	リアカメラ連動画面が表示されています。 MCC292取付説明書をご参照のうえ、接続ハーネスの加工をおこなってください。
エンジンを始動すると必ずリアカメラ映像が表示される	リアカメラ強制表示モードが動作していませんか? (☞13ページ)
リアカメラ強制表示モードに切り替わらない	車両側ウインカー・ハザードが動作していませんか? またはシフトレバーを【R(リバース)】にしていませんか?
ナビの現在地表示がバック(後退)する	本機をナビのリアカメラ入力に接続している場合、本機の動作中はナビの自車位置が不正確になります。
フロントカメラ表示中にシフトレバーを【P(パーキング)】にすると、フロントカメラ表示が消える	ゲート式シフトレバーの場合、【D(ドライブ)】から【P(パーキング)】に切り替えるときに【R(リバース)】を通ります。その際、リバース連動機能が動作することになり、ワンタッチ映像出力機能がキャンセルされます(9ページ参照)。
ウインカー連動機能をONにしているとき、ハザードスイッチ(車両側)をONにするとサイドカメラ映像が表示される	接続ハーネスの左ウィンカー入力線(灰)、および右ウィンカー入力線(白)が正しく接続されているかご確認ください。

ご相談窓口

データシステムWebサイト・・・**http://www.datasystem.co.jp/**

お電話 086-445-1617
#+2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】 平日 10:00～12:00 / 13:00～17:30

※土日/祝日/年末年始/弊社休業日を除く
※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます

お問い合わせ(PC)
「メールでのお問い合わせ」をクリックして、問い合わせ窓口へお進みください
http://www.datasystem.co.jp/support/

お問い合わせ(モバイル)
バーコードリーダーを搭載した携帯電話などで、右のバーコードを読み取ってください
http://www.datasystem.co.jp/mobile/inquiry/

株式会社 データシステム
■[本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
MCC292-1212-YUM